

2025 年 6 月 28 日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

ICU(intensive care unit)における早期栄養介入の効果の検討

2. 研究責任者

海南病院 栄養管理室 管理栄養士 山内 達基

3. 研究の概要

重症患者において経腸栄養の早期開始により、感染性合併症の減少、ICU 在室期間および入院期間の短縮、死亡率の低下が報告されており、ICU 入室 48 時間以内に経腸栄養を開始することが推奨されています。管理栄養士が ICU において積極的に介入を行う事でより早期に経腸栄養を開始することができれば、術後の感染症予防や身体機能維持、入院期間の短縮により、入院費や医療費の削減につながる可能性が考えられます。

本検討では、対象患者の ICU 入室時の SOFA(sequential organ failure assessment)スコアおよび経腸栄養開始時間、ICU 在室日数、入院期間を電子カルテより収集し、ICU 入室後の早期栄養介入が、入院日数や経腸栄養開始時間に与える影響を後方的に調査します。早期栄養介入加算を算定開始する前の 2019 年度と開始後の 2020 年度以降の経腸栄養開始時間および ICU 入室日数、入院期間の変遷を報告します。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2019 年 4 月～2025 年 3 月の間で ICU に入室した患者さん

② 使用する試料等

カルテ情報：ICU 入室時 SOFA スコア、ICU 在室期間、入院期間、経腸栄養開始時間などの通常診療で得られる臨床データ

尚、この研究の目的で追加される検査等はありません

5. 個人情報の取り扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 栄養管理室 山内 達基 内線(3100)

電話 : 0567-65-2511 (代表)